

岐阜県美術館 企画展のご案内
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

ミレーから 印象派への 流れ



ジャン=フランソワ・ミレー 《慈愛》1858-59年 トマ=アンリ美術館蔵
©Musée Thomas-Henry, Cherbourg-en-Cotentin

展覧会名	ミレーから印象派への流れ
会場	岐阜県美術館 展示室3 (岐阜市宇佐4-1-22)
会期	令和3年10月1日(金)～10月21日(木) 10:00～18:00 ※夜間開館日:10月15日(金)は20:00まで開館 ※展示室の入場は閉館時間の30分前まで ※休館日:月曜日[祝日の場合は翌平日]
観覧料	一般 1,100(900)円 大学生 800(700)円 ()内は20名以上の団体料金 高校生以下無料 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、難病に関する医療費受給者証の交付を受けている方およびその付き添いの方(1名まで)は無料
主催ほか	主催:岐阜県美術館、岐阜新聞社 岐阜放送 後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、NHK岐阜放送局 協力:岐阜県社会保険協会 企画協力:ホワイトインターナショナル

■ 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策のため、予定を変更する場合があります。
事前に岐阜県美術館 Web サイトでご確認ください。

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当:橋本 展覧会担当学芸員:西山
〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22
TEL. 058-271-1314 FAX 058-271-1315

<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp> E-mail: hashimoto-hironori@pref.gifu.lg.jp

ミレーから印象派への流れ

本展覧会について

近代化の進んだフランスでは、工業化に伴って都市の人口が増えることで、ブルジョワ文化が花開きました。人々は自然を求めて郊外への旅や余暇を楽しむようになりました。

19世紀後半に展開した印象派に代表されるフランス近代絵画は、パリだけでなく地方においても豊かに育まれ、美しい自然や風土の新たな描写を可能にしました。バルビゾン村で農民の生活を描いたミレーは、郷里ノルマンディーでもそこに暮らす人々を描いていました。^{みなも}水面を描くモネは光と色彩を追求し、ルノワールやセザンヌらとともに近代絵画の多様な展開を実現しました。ブルターニュ地方では1880年代からポン=タヴェンに集まった画家たちが、絵画の革新を切り開いていきました。

本展では英仏海峡沿いのドゥエ美術館、トマ=アンリ美術館、カンペール美術館に加えて、早くから印象派コレクションを形成していたイギリス、ウェールズ国立美術館から集めた、パリで見られるものとは異なる個性的な名品をお楽しみいただけます。

展覧会の「みどころ」

(1) 総勢45名の作家、69作品による厳選の作品展！

【おもな出品作家】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ■ジャン=フランソワ・ミレー | ■ジャン=バティスト・カミーユ・コロー |
| ■コンスタン・デュティユー | ■ギュスターヴ・クールベ |
| ■クロード・モネ | ■ポール・セザンヌ |
| ■ピエール=オーギュスト・ルノワール | ■アルマン・ギヨマン |
| ■アントワーヌ・ギュメ | ■アンリ・ウジェーヌ・ル・シダネル |
| ■ウジェーヌ・ブーダン | ■アンリ・マルタン |
| ■モーリス・ドニ | ■エミール・ベルナール |
| ■ピエール・ボナール | ■ポール・セリュジエ |

他

(2) 印象派へとつながる、ミレーらバルビゾン派の革新的な試みを紹介

パリ郊外のバルビゾン村に移り住み、風景や田園生活を描いたジャン＝フランソワ・ミレーは、身の回りの自然や風景に目を向け、特に人々の暮らしや農村での労働に目を向け、それを描き出しました。

当時は歴史画が正統派絵画とされるなかで、ジャン＝パティスト・カミーユ・コローが描いた風景や、ミレーが描いた人物は、後のクロード・モネなど印象派へとつながる革新的な試みでした。その流れを、ミレーやコローの作品を中心に紹介します。



ジャン＝パティスト・カミーユ・コロー《カステル・ガンドルフォ、アルバーノ湖畔で踊るチロルの羊飼い》1855-60年 ウェールズ国立美術館蔵
©Amgueddfa Cymru-National Museum Wales, Cardiff

ジャン＝フランソワ・ミレー (1814-1875) 略歴

- 1814年 ノルマンディー地方グレヴィル郊外の村グリュシーの農家に8人兄弟の長男として生まれる。
- 1832年 この頃からシェルブールで絵の修業を積む。
- 1837年 パリのエコール・デ・ボザールで歴史画家のポール・ドラローシュに師事する。
- 1840年 サロンに初入選したのち、シェルブールに戻り、肖像画家として名声を得る。
- 1845年 パリに移り住む。
- 1848年 2月革命に遭遇して民衆への共感を抱く中、自らのルーツである農民の主題にアイデンティティーを見いだしていく。
- 1849年 バルビゾンに定住し、制作を通して農民の日々の営みを永劫なる奥深い世界へと高めた。
- 1867年 パリ万国博覧会で大回顧展が開催される。
- 1868年 レジオン・ドヌール勲章を受章して、名声を不動のものとする。
- 1875年 健康状態が悪化し、バルビゾンにて死去。享年61歳。

(3) フランスとイギリスの美術館所蔵の珠玉のコレクションを紹介

本展覧会では、自然主義や写実主義から印象派やポスト印象派を経て、ナビ派へと至る19世紀のフランス絵画の系譜を、フランスとイギリスの美術館から出品された珠玉のコレクションを中心にたどります。



ジャン＝フランソワ・ミレー《冬、薪集め》1868-75年 ウェールズ国立美術館蔵
©Amgueddfa Cymru - National Museum Wales, Cardiff



ビエール＝オーギュスト・ルノワール《肖像画の習作》ドゥエ美術館蔵
©Musée de la Chartreuse de Douai



クロード・モネ《睡蓮》1906年 ウェールズ国立美術館蔵
©Amgueddfa Cymru - National Museum Wales, Cardiff

※以下は、緊急事態措置区域の決定を受けて当初予定から一部変更しております。

■ 開催期間中イベント

◆ミュージアムトーク

日 時：令和3年10月16日（土） 14：00～（1時間程度）
会 場：岐阜県美術館 多目的ホール、展示室3
解 説：担当学芸員 西山恒彦
備 考：事前申込不要、ただし当時観覧券が必要

■ 同時開催 （※会期中、同展観覧券の半券にてご観覧いただけます。）

◆「20世紀の美術」 / 「寄贈記念 ^{もり どうしゅん} 守 洞 春 展」

令和3年7月27日（火）～11月21日（日）

◆「精霊たちのいるところ ～アボリジニの美術～」

令和3年7月27日（火）～12月5日（日）

ただし、9月21日（火）～27日（月）は展示替えのため休室

◆「ab-sence/ac-ceptance 不在の観測」

令和3年10月1日（金）～11月28日（日）

ご来館のみなさまへお願い

岐阜県美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全に配慮した取り組みを行なっています。

- ・発熱、咳などの風邪症状がある方、体調がすぐれない方はご来館をお控えください。
- ・入館にあたり、マスクの持参・着用、こまめな手洗い・消毒、来館者同士の距離の確保にご協力ください。

◎ 会期やイベントの最新情報は、岐阜県美術館 Web サイトをご覧ください。

(<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>)

岐阜県美術館

検索 

岐阜県美術館企画
「ミレーから印象派への流れ」

広報画像貸出申込書

FAX 番号:058-271-1315

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名:)		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 (月号) / 発行部数	部
掲載内容				

2. 広報画像はご使用になりますか。

☐ はい 画像データ到着希望日 (月 日) ☐ いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

☒	番号	ご掲載時のキャプション表記
☐	①	ジャン＝フランソワ・ミレー 《慈愛》 1858-59 年 トマ＝アンリ美術館蔵 ©Musée Thomas-Henry, Cherbourg-en-Cotentin
☐	②	ジャン＝フランソワ・ミレー 《部屋着姿のポーリーヌ・オノ》 1843-44 年 トマ＝アンリ美術館蔵 ©Musée Thomas-Henry, Cherbourg-en-Cotentin
☐	③	ジャン＝フランソワ・ミレー 《冬、薪集め》 1868-75 年 ウェールズ国立美術館蔵 ©Amgueddfa Cymru-National Museum Wales, Cardiff
☐	④	ジャン＝バティスト・カミーユ・コロー 《カステル・ガンドルフォ、アルバーノ湖畔で踊るチロルの羊飼い》 1855-60 年 ウェールズ国立美術館蔵 ©Amgueddfa Cymru-National Museum Wales, Cardiff
☐	⑤	ピエール＝オーギュスト・ルノワール 《肖像画の習作》 ドゥエ美術館蔵 ©Musée de la Chartreuse de Douai
☐	⑥	クロード・モネ 《睡蓮》 1906 年 ウェールズ国立美術館蔵 ©Amgueddfa Cymru-National Museum Wales, Cardiff
☐	⑦	アンリ・ウジェーヌ・ル・シダネル 《日曜日》 ドゥエ美術館蔵 ©Musée de la Chartreuse de Douai
☐	⑧	ポール・セリュジエ 《さようなら、ゴーギャン》 1906 年 カンペール美術館蔵 ©Musée des Beaux-Arts de Quimper

■広報画像一覧

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



【広報画像使用に関する注意事項】

- 「広報画像貸出申込書」のお申し込み内容は、企画協力会社にも情報提供させていただきます。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ2部お送り願います。
- 画像を掲載する際は、画像ページのデータを事前に岐阜県美術館橋本まで提出し、掲載の許可をとってください。
- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。